

## 気候変動への対応について

SH プレシジョン（以下、当社）は、サステナビリティ経営方針において、持続可能な社会の実現に貢献する経営課題に取り組み、事業の持続的な成長と企業価値の向上を図ることを掲げ、従業員一人一人の技と心で新しい価値を創造し、お客様に満足いただける製品と技術の提供を通して、地球にやさしく、社会から信頼される企業で有り続けることを目指します。

当社は、環境方針の下、長年に亘り、環境負荷物質の削減、エネルギー使用量の削減、資源の有効活用、リサイクル化など取り組んでまいりました。こうした中、地球温暖化による気候変動は、当社事業のみならず、お客様、サプライチェーンに対しても多大な影響を及ぼす重要な課題と位置づけ、その取り組みを計画的に推進しております。

### 1. 中長期環境目標

目標項目	2030年	2050年
温室効果ガス(GHG)実質排出量	50%削減 (2013年対比) ※1	実質排出量 ゼロ
再生可能エネルギー使用	使用率 100%	使用率 100%維持

※1) 対象:Scope1+Scope2

### 2. 推進体制

当社は、気候変動対策など環境への取組みを推進するため社長（事業所責任者）を委員長とするサステナビリティ推進委員会にて、定期的に当社の事業方針および手続への反映を行うとともに、環境マネジメントシステムの枠組みを活用し、取組みを推進します。

### 3. 活動実績

当社は、中長期環境目標（2030年・2050年）達成を目指し、全社活動を展開しています。具体的な活動として、以下の分野に重点を置き、カーボンニュートラルの実現を目指しています。

- (1) 省エネルギー推進並びに生産効率化による GHG 実質排出量削減（図 1）
- (2) 再生可能エネルギーの使用（図 2）

図1：温室効果ガス（GHG）実質排出量削減の推移と目標値（Scope1+Scope2）

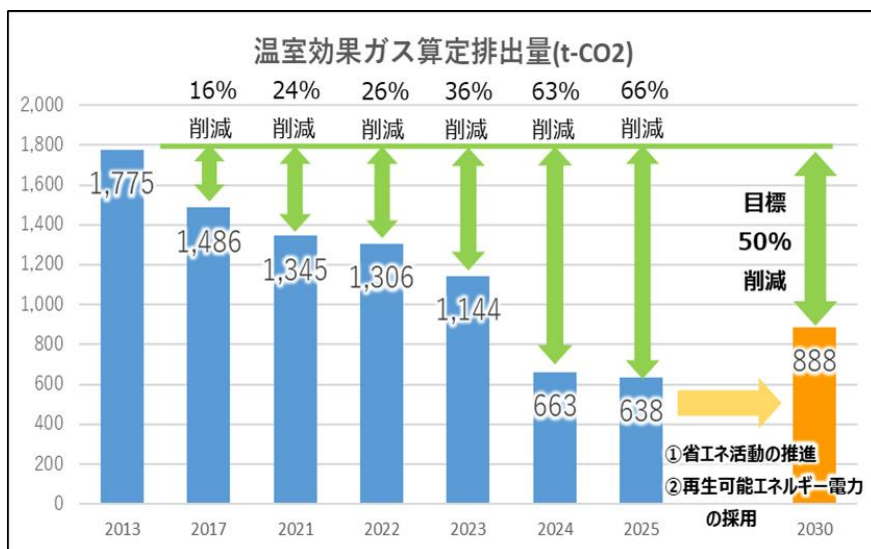
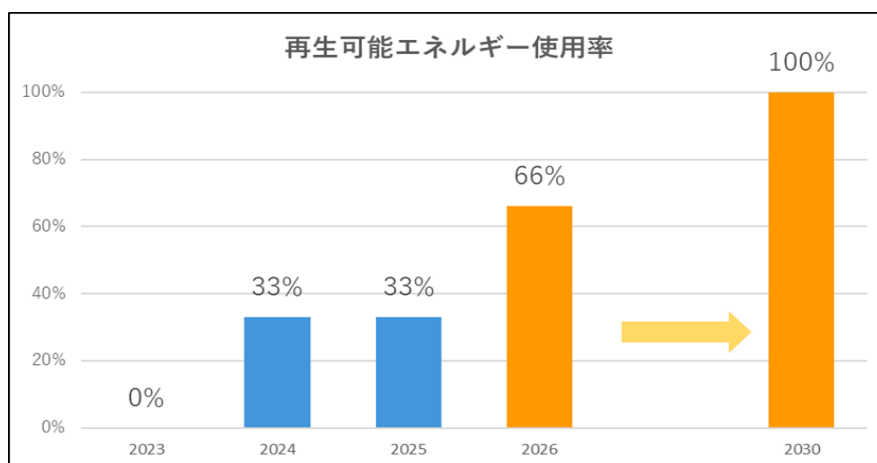


図2：再生可能エネルギー使用率の推移と目標値



#### 4. 活動内容

##### (1) 省エネルギー推進並びに生産効率化による GHG 排出量削減

当社は、製造設備やユーティリティ設備等の省エネルギー化、生産活動の効率化等により GHG 排出量の削減を進めています。具体的には、変圧器、空調設備等老朽化機器の省エネ機器への更新、圧縮機の効率的運用、照明の LED 化（2025 年 11 月完了）など各種施策の実行並びに生産設備の集約、設備稼働率改善など生産改善活動の推進を通して、効率的なエネルギー利用による低炭素製造工程・施設の実現を目指し、全社で取り組みを強化しています。

## (2) 再生可能エネルギーの導入

当社の事業活動を通して排出される GHG の内、外部から購入する電力に由来する GHG の比率が大きなウエイトを占めています。そこで、2030 年度において再生可能エネルギー使用率を 100%にすることを中長期環境目標に掲げ、購入する電力の再生可能エネルギーへの転換を推進しています。具体的には、2024 年 1 月より東北電力殿と CO2 フリーの再エネ電気の供給契約を締結し、当社で使用する電力の約 1/3 を切替えました。さらに、2026 年 2 月には追加で約 1/3 の切替えを実施し、現在では使用電力の約 2/3 が再生可能エネルギーとなっています。今後、再エネ電気の適用割合を順次拡大し、中長期環境目標の達成へ向け、取組みを強化して参ります。

## 5. Scope 1・2・3に関する第三者認証取得

当社は、温室効果ガス（GHG）排出量における Scope 1～3 への対応について、信頼性と透明性を確保するため、2026 年 5 月 21 日に第三者機関による認証を取得しました。

### (1) 認証概要

- ・ 認証機関：BSI グループジャパン株式会社
- ・ 認証範囲：2025 年度における当社の Scope 1、2 および Scope 3 排出量
- ・ 準拠基準：ISO14064-3:2019 に基づく準拠
- ・ 認証結果：妥当性が確認され、検証済みの「独立保証声明書」を取得  
「独立保証声明書」は次項に公開します。

## 6. 今後の展望

Scope 1～3 を含めた GHG 排出量の可視化は完了しており、今後はその結果を踏まえ、排出量削減に向けた具体的な施策の実行および取組みの強化を進めて参ります。これにより、サステナブルな社会の実現に貢献して参ります。

## BSI 独立保証声明書

# BSI Independent Assurance Statement

### 2025 年度 SH プレシジョン株式会社における温室効果ガス排出量に関する保証

Related to SH Precision Co., Ltd.'s GHG Emissions for the fiscal year 2025

British Standards Institution（以下、BSIという）は、上記のデータに関する声明の評価と検証を除いては、SH プレシジョン株式会社に対して独立しており、SH プレシジョン株式会社の運営に金銭的利害関係はありません。

この独立保証声明書は、以下の範囲で作成されているデータに関する声明を検証する目的でのみ、SH プレシジョン株式会社の利害関係者のために作成されており、他の目的のために作成されたものではありません。

BSI は、この独立保証声明書を提供するにあたり、それが使用される可能性のある他の目的に対して、または独立保証声明書を読む人に対して、（法的またはその他の）責任を受け入れることはありません。

この独立保証声明書は、BSI が SH プレシジョン株式会社から提示された情報を評価したことに基づいて作成されています。評価は提示された情報を超えるものではなく、提示された情報のみに基づいています。このような評価を行うにあたり、BSI は、提示されたすべての情報が完全かつ正確であることを前提としています。SH プレシジョン株式会社は報告書内の全てのデータ及び情報の収集、集計、分析及び公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとします。報告書は SH プレシジョン株式会社によって承認されており、その責任は SH プレシジョン株式会社にあります。

この独立保証声明書またはそれに関連する事項についての問い合わせは、SH プレシジョン株式会社に対して宛ててください。

The British Standards Institution (BSI) is independent of SH Precision Co., Ltd., except for the evaluation and verification of the above data statements, and has no financial interest in SH Precision Co., Ltd.'s operations.

This Independent Assurance Statement has been prepared for SH Precision Co., Ltd. stakeholders solely for the purpose of verifying data statements made to the extent listed below scope and not for other purpose.

In providing this independent assurance statement, BSI accepts no legal or other liability for any other purposes for which it may be used or to any person reading the independent assurance statement.

This Independent Assurance Statement is based on BSI's evaluation of information provided by SH Precision Co., Ltd. The verifying does not go beyond the information provided and is based solely on the information provided.

In making such as verifying, BSI assumes that all information provided is complete and accurate. SH Precision Co., Ltd. is responsible for the collection, aggregation, analysis and publication of all data and information in the report and for maintaining effective internal controls over the systems on which the report is based.

The report has been approved by SH Precision Co., Ltd. and is the responsibility of SH Precision Co., Ltd.

Inquiries regarding this Independent Assurance Statement or any matters related to it should be addressed to SH Precision Co., Ltd.

**範囲（スコープ）**

SH プレジジョン株式会社と合意した保証業務の範囲には 以下が含まれます。

SH プレジジョン株式会社 2025 年度（2025/01/01-2025/12/31）における運営及び活動に対する以下の要求事項を対象としています。

- ・会社の定める報告手順への適合性の検証
- ・表 1 に関するデータの正確性及び信頼性の評価

検証期間：2026/02/12 – 2026/05/14

**Scope**

The scope of assurance services agreed with SH Precision Co., Ltd. includes the following:

The following requirements for the operation and activities of the company in FY2025（2025/01/01-2025/12/31） are covered.

- ・Verification of compliance with SH Precision Co., Ltd.'s reporting procedures
- ・Evaluation of the accuracy and reliability of the data for Table 1

Verification period : 2026/02/12 – 2026/05/14

**意見書**

私たちは、BSI の保証手続きの結果、SH プレシジョン株式会社がすべての重要な点において、以下のことを示す事実は認められませんでした。

- ・SH プレシジョン株式会社の定める基準に従って報告書を作成していない
- ・下表 1 に要約される正確で信用できる GHG 排出量を開示していない

また、私たちの保証業務は、ISO14064-3:2019 のフレームワークに従って、検証保証人のチームにより実施され、ISO14064-3:2019 に基づく準拠に関する SH プレシジョン株式会社のデータが適切であるという十分な証拠を提供されていると認識するための必要な情報と説明を得るために、この保証業務を計画し実施しました。

**BSI's Opinion**

Based on BSI's approach nothing has come to our attention that would cause us to believe that SH Precision Co., Ltd. has not, in all material respects:

- Met the requirements of the criteria listed above; and
- Disclosed accurate and reliable GHG Emissions as summarized in Table 1 below.

Our assurance engagement was planned and carried out by a team of verification guarantors according to the framework of ISO14064-3:2019. The objective was to obtain the necessary information and clarifications to perceive that SH Precision Co., Ltd.'s data on compliance under ISO14064-3:2019 provided sufficient evidence of adequacy.

表 1 SHプレジジョン株式会社の2025年度GHG排出量の要約

Table 1. Summary of SH Precision Co., Ltd.'s GHG Emissions the fiscal year 2025

スコープ (Scope)		数量 (quantity)
スコープ 1 GHG 排出量 (tCO <sub>2</sub> e) Scope 1 GHG emissions (tCO <sub>2</sub> e)		34.4
スコープ 2 GHG 排出量 (マーケット基準) (tCO <sub>2</sub> e) Scope 2 GHG emissions (Market-based) (tCO <sub>2</sub> e)		603.1
スコープ 2 GHG 排出量 (ロケーション基準) (tCO <sub>2</sub> e) Scope 2 GHG emissions (Location-based) (tCO <sub>2</sub> e)		975.8
スコープ 3 GHG 排出量 (カテゴリー 1-15 計) (tCO <sub>2</sub> e) Other indirect GHG emissions (Scope 3, Category 1-15 total) (tCO <sub>2</sub> e)		11,990.3
カテゴリー1 Category 1	購入した製品・サービス Purchased goods & services	11,072.9
カテゴリー2 Category 2	資本財 Capital goods	558.8
カテゴリー3 Category 3	Scope1,2 に含まれない燃料及びエネルギー関連活動 Fuel- and energy-related activities not included in Scope 1 and 2	99.1
カテゴリー4 Category 4	輸送、配送 (上流) Upstream transportation & distribution	139.2
カテゴリー5 Category 5	事業から出る廃棄物 Waste generated in operations	23.9
カテゴリー6 Category 6	出張 Business travel	17.6
カテゴリー7 Category 7	雇用者の通勤 Employee commuting	58.0
カテゴリー8 Category 8	リース資産 (上流) Upstream leased assets	3.2
カテゴリー12 Category 12	販売した製品の廃棄 End of life treatment of sold products	17.6

## 保証レベル

ISO14064-3:2019 及び検証人の専門的判断に準拠して限定レベルの保証業務が実施されました。

**Assurance level**

A limited level of assurance work was performed in compliance with ISO14064-3:2019 and the professional judgment of the verifier.

**責任**

2025 年度 SH プレシジョン株式会社における温室効果ガス排出量データの責任は、SH プレシジョン株式会社にあります。私たちの責任は、記載されている範囲と保証レベルに基づいて専門家としての意見を利害関係者に提示する独立保証意見書を提供することです。

**Responsibility**

SH Precision Co., Ltd. is responsible for 2025 SH Precision Co., Ltd.'s GHG emissions.

Our responsibility is to provide an Independent Assurance Opinion which presents interested parties with our professional opinion based on the scope and level of assurance stated.

**保証手続**

BSI の保証業務は、ISO14064-3:2019 に従って実施されました。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項を実施いたしました。

- ・報告書内に重大な誤り、記載の漏れ及び誤りが無いことを確認するための、SHプレシジョン株式会社のデータのマネジメントシステムとデータベースシステムについて、内部検証の状況、データの取り扱い、システムの運用とその有効性を検証審査しました。
- ・データの収集と報告書の作成に関わる主たる関係者へのインタビューと確認を実施しました。
- ・サンプリング手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合及び計算方法の検証を実施しました。
- ・本社の敷地境界、Scope1,2,3に関する設備の状況と敷地周辺を目視確認しました。
- ・エネルギーに関しては、其々供給事業者からの提供帳票との突合確認を実施しました。
- ・内部のプロセスの適切性/妥当性確認のため、プロセスに関する文書類を検証実施しました。

**BSI's Approach**

BSI's assurance engagements are carried out in accordance with ISO 14064-3:2019. The following tasks were undertaken as part of the evidence gathering process for this assurance engagement:

- ・Auditing SH Precision Co., Ltd.'s data management systems to confirm that there were no significant errors, omissions or misstatements in the report. We did this by reviewing the effectiveness of data handling procedures, instructions and systems, including those for internal verification;
- ・Interviewing with those key people responsible for compiling the data and drafting the report;
- ・Sampling datasets and traced activity data back to aggregated levels;
- ・Visually checked the boundaries of the head quarter, the status of equipment related to Scope 1, 2 and 3, and the area around the premises;
- ・Concerning energy, we carried out cross-confirmation with the slips provided by each supplier.
- ・Verified process documentation to ensure appropriateness/validity of internal processes;

**能力と独立性**

BSIの保証チームは、産業部門で経験を積んだ主任監査員とカーボンフットプリント検証者で構成され、AA1000 AS、ISO14001、ISO45001、ISO14064、ISO 9001 など、さまざまな持続可能性、環境、社会規格のトレーニングを受けています。BSI は 1901 年に設立された規格策定と審査・評価を行うグローバル機関です。

**Competence and independence**

BSI's assurance team is made up of lead auditors and carbon footprint verifiers with experience in the industrial sector and is certified to undergoing training of various sustainability, environmental and social standards such as AA1000 AS, ISO14001, ISO45001, ISO14064 and ISO 9001. Established in 1901, BSI is a global organization that develops standards and reviews and evaluates them.

BSI :



---

**BSI 代表**

Michael Lam, Senior Vice President, APAC Assurance

21 May 2026